



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2010年4月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

地域医療支援病院としての 1年半の歩み



病院長 泉 良平

富山県で初めての地域医療支援病院に認定していただいた後、約1年6ヶ月を過ぎ、なんとかその役割を果たせているのではないかと感じているところです。昨年度1年間にご紹介いただきました患者数は、これまでの目標でありました1万人を超え、また当院からの逆紹介患者さんも7,200人近くお引き受けいただきました。これらはいずれも一昨年度の実績を超えており、医療機関の皆様のご理解・ご協力をいただいた結果と感謝いたします。

地域医療支援病院としての役割として、紹介・逆紹介や救急医療のほかに、「地域医療スタッフの研修による医療の質の向上」、「在宅医療支援」などがあります。

その中でも、当院が7年前から取り組んできたことに地域医療スタッフと共に行う研修があります。この「れんけいと支援」にてお知らせしていますように多くの研修を行って来ました。医師の皆さんとの症例検討会は毎月開催されています。また、医師以外の医療スタッフの研修は、院内での褥瘡対策学習会や感染対策学習会をご案内したことが当初の取り組みであったかと思います。そして、院内での研修会に昨年度1年間で985名の院外スタッフの参加をいただきました。


富山圏域リハビリテーション研修会などの講演・セミナーに、昨年度は院外から303名が参加されました。また、当院のスタッフが出向いて行きます出前研修を、昨年からは積極的に行っています。この中には、コンフリクトマネジメント、医療安全、院内感染対策、接遇、看護管理、キネステティック、スキントラブル、ターミナルケア、医療事故対策などがあり、1,625名の院外の皆さんに研修を受けていただきました。

昨年度1年間で、研修を受けていただいた地域医療スタッフの皆さんは、総数で2,913名にのぼります。院内スタッフ3,056名を加えますと、実に5,969名となります。皆様のご理解のおかげと感謝いたします。研修を行った当院スタッフの充実した笑顔を見るたび、この取り組みが正しかったと感えているところです。これからも在宅医療支援など、多くのなさねばならぬ仕事があります。地域医療機関の皆様と共に、市民の皆様によるこんでいただける医療を提供できるよう努めてまいりたいと思います。

Contents

地域医療支援病院としての1年半の歩み ... 1
研修・講演・勉強会のご案内 2.3
腎臓病教室のご案内 3
4月の地域連携・開放型病床症例検討会報告 ... 3
新任医師紹介 4
平成21年度 紹介数・逆紹介数のご報告 ... 5
『出前研修のお勧め』 5
診療所・病院・施設訪問 6
大腿骨頸部/転子部骨折地域連携バス会議 ... 7
第1回感染予防対策学習会を終えて ... 7
医師不在のお知らせ 7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ ... 8
ふれあい地域医療センタースタッフ異動のご案内 ... 8
編集後記 8

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

5月 日時：5月11日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂 
ミニレクチャー：心房細動患者の日常診療 循環器内科 寺崎 敏郎

心房細動は高齢化社会の進行とともに日常診療で遭遇する機会が増えている不整脈なのではないかと思えます。

初診時あるいは通常の再診で心房細動患者を診察したときどう対応すればよいのか。除細動を試み洞調律維持を行ってゆく（リズムコントロール）べきか、あるいは洞調律にもどすことはあきらめ房室伝導を抑制する薬を投薬し心拍数調節で経過を見てゆく（レートコントロール）べきか。塞栓症予防は行

うべきか、投薬は何を使用すべきか（ワルファリン？アスピリンなどの抗血小板薬？）。

日々一人ひとりの心房細動患者で悩みながら診療している一循環器内科医として、「レクチャー」などということを行うほど悟りの境地に達していないというのが正直なところなのですが、2008年の日本循環器学会の新しいガイドラインを参考にして心房細動患者の日常診療はどうあるべきかを考察してみたいと思います。

症例検討

- ・低血糖脳症のMRI所見 神経内科 町谷 知彦
- ・当院の2009年脳卒中入院患者の集計 脳神経外科 塚田 彰

6月 日時：6月8日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂
ミニレクチャー：術前の禁煙に関するアンケート調査 麻酔科 加藤 晋

2. 内科CPC

日時：5月18日（火）17：30～
場所：講堂（集団指導室に変更になる場合もあります）

3. とやまレントゲン読影会

日時：5月21日（金）19：00～20：00
場所：集団指導室

興味のある症例の提示

4. 褥瘡対策委員会症例検討会

日時：5月28日（金）17：45～18：45

場所：集団指導室

テーマ 褥瘡の分類

講師 野村佳弘 医師

毎月第4金曜日に開催

日頃ケアしている患者さんの褥瘡について検討を希望される方は、褥瘡部の写真を3日前までにふれあい地域医療センターまでお送り下さるか、当日ご持参ください。

5. 救急事例検討会

日時：5月10日（月）17：30～19：00

場所：講堂

6. 緩和医療委員会・学習会

日時：5月11日（火）17：30～18：30

場所：集団指導室

テーマ 緩和ケア がん性疼痛について

講師 板野武司 医師

7. 糖尿病研究会定例学習会

日時：5月6日（木）17：30～18：30

場所：集団指導室

テーマ 糖尿病とは

講師 清水暁子 医師

8. NST学習会

日時：5月31日（月）18：00～19：00

場所：講堂

テーマ 栄養スクリーニングと栄養評価

9. 看護研修

《新任看護職員研修》

日時：5月7日（金）13：30～14：30

場所：講堂

テーマ 感染防止の技術

日時：5月8日（土）13：00～17：00

場所：講堂

テーマ レスピレーター研修

日時：5月11日（火）13：30～14：30

場所：講堂

テーマ 安全確保の技術

《 衛星研修S QUE Eナース 》

日時：5月6日（木）18：00～19：20

場所：講堂

テーマ 院内急変を予測できるフィジカル
アセスメント **基礎**

日時：5月19日（水）18：00～19：20

場所：講堂

テーマ 急変対応（救急看護技術と蘇生） **応用**

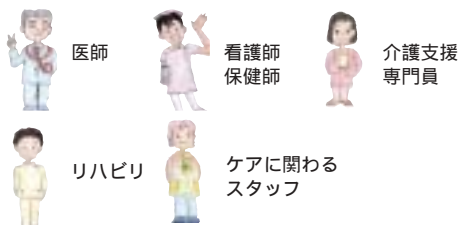
《 衛星研修S-QUE 特別企画 》

日時：5月28日（金）17：00～19：00

場所：講堂

テーマ 病院機能評価Ver.6.0、受審準備の進め方及び対策

研修の横に対象となる職種マークをつけました。
お気軽にお越し下さい。



腎臓病教室のご案内



- 1. 目的 慢性腎臓病の治療法を理解し、生活習慣の改善をすることにより、病気の進行を遅らせ合併症の発症を防ぎます。
患者さんやご家族及び医療者の交流を設け、健康管理の相談・アドバイスをいたします。
- 2. 対象者 当院を受診されている外来・入院の患者さんとその家族
地域医療機関の看護師などコメディカルの方々の参加も可能です。
- 3. 教室内容 医 師.....腎臓病と治療について
臨床検査技師.....腎機能検査値の見方について
管理栄養士.....食事管理のポイントについて
薬 剤 師.....薬剤の効用と副作用について
看 護 師.....日常生活・血圧管理について
医事課職員.....医療費について
- 4. 日 時 5月19日（水） 14：30～16：30 講堂
10月20日（水） 14：30～16：30 集団指導室
3月16日（水） 14：30～16：30 集団指導室



新任医師紹介

どうぞよろしくお願ひ申し上げます



打越 学先生
内科（循環器）

地域医療に、微力ではありますが、お役に立てるようがんばりたいと思います。よろしくお願ひ致します。



加藤 貴士先生
整形外科

整形外科医として、4月から働かせていただきます。まだ、若輩者ですが一つでも多くを学び、病院の方々が患者さんに役立てるよう努力いたします。



齋藤 敦先生
皮膚科

ご紹介いただいた患者さんは、誠心誠意、診療させていただきます。よろしくお願ひいたします。



柴田 義宏先生
放射線診断科

画像診断という限られた領域ですが、先生方のお役に立てることが出来れば幸いに存じます。どうぞ宜しくお願ひ致します。



真橋 宏幸先生
外科

誠意ある医療につとめます。



瀬戸彩乃先生
形成外科

地域医療のお役に立てるよう、精一杯がんばります。宜しくお願ひ致します。



高櫻 明子先生
内科（内分泌・代謝）

4月より内科（内分泌・代謝）に着任いたしました。患者さんに寄り添った医療を目指したいと思います。よろしくお願ひします。



戸島 史仁先生
放射線診断科

地域に根ざした病院の一職員として、地域の患者さんのために精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願ひします。



船木康二郎先生
緩和ケア内科

4月から緩和ケア内科に着任しました。地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



宮本真由美先生
内科（腎・高血圧）

4月から内科（腎・高血圧）に着任しました。勉強しながら一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひ致します。



森尻 昌人先生
臨床研修医

富山は、とっても好きな町です。富山市民病院にて、しっかり経験をつんで、地域医療に貢献したいです。



五十音順

平成21年度 紹介数・逆紹介数のご報告

平成21年度の紹介数関連のデータ集計ができましたので、ご報告いたします。

平成21年度も多くのお患者さんをご紹介いただきまして、ありがとうございました。ご紹介いただいた患者数が初めて1万件を超えました。中でも、診察予約数(5,012)と検査予約数(980)を合わせると、事前予約の総数は約6,000件となり、紹介患者数の60%に達したことがわかります。地域連携室開設当初(平成16年度)は事前予約が紹介患者数の25%だったことを考えると、ずいぶん多くの先生方よりふれあい地域医療センターへご連絡いただけるようになりました。本当にありがとうございます。

地域医療支援病院として、ますます地域の先生方との連携を深めさせていただき、今後も今までも増して地域医療連携の充実と推進に努力してまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年度/数	紹介患者数 (ご紹介いただいた患者数)	逆紹介患者数 (ご紹介させていただいた患者数)	診察予約数 (事前に地域連携室へご予約いただいた診察予約数)	検査予約数 (事前に地域連携室へご予約いただいた検査予約数)
平成19年度	9,845	7,281	3,513	743
平成20年度	9,857	6,868	3,923	736
平成21年度	10,016	7,172	5,012	980

「診察・検査予約数」は紹介患者数のうち、ふれあい地域医療センターへ事前に予約いただいた数です。

『 出前研修のお勧め 』

先月号でもお伝えしましたが、平成21年度の出前研修(当院より地域医療機関や施設へ講師が出向いて研修を行う)への参加者数は1,600名を超えました。病院や介護保健施設より多数ご依頼いただき、テーマに応じて主に看護師を派遣してまいりました。

今年度は、病院や施設はもちろん、スタッフ数が少ない診療所や地域包括支援センター、訪問看護ステーションなどからのご依頼にも対応していきたいと考えています。

在宅療養への比重が強まる中、地域医療支援病院として役割を果たしていきたいと考えています。当院の出前研修をご利用ください。

出前研修のご依頼は、ふれあい地域医療センターまでお寄せください。

《 出前研修内容 》(例)

- ・ 糖尿病指導
- ・ 皮膚排泄ケア
- ・ 小児救急
- ・ 緩和ケア、ターミナルケア
- ・ 感染管理
- ・ 接遇
- ・ 救急蘇生
- ・ 転倒、転落 など

出前研修は無料です。



《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 61 岡部こども医院

今回は「岡部こども医院」を訪問させていただきました。

名 称	岡部こども医院
住 所	富山市二口町1丁目12-7
医 師	岡部 敬 先生
標 榜 科	小児科 内科
診察日・時間	月～金 9:00～12:30 土 9:00～14:00 月・火・木・金 14:30～18:30 水曜と土曜の午後・日曜・祝日は休診
施 設 区 分	無床診療所

訪問記



岡部こども医院前景



岡部先生



岡部先生とスタッフの皆様

4月12日(月)雨上がりの午後に、光陽小学校のそばで開院されている岡部こども医院を訪問させていただきました。岡部敬院長先生は、平成18年10月に富山市民病院を退職され、二口町に開院されました。診療所は当院とは目と鼻の先に位置しており、日頃より紹介・逆紹介で連携をいただいています。

患者さんは、風邪などの感染症を始め、勤務医時代から担当されていた未熟児や新生児、小児慢性特定疾患の患者さんなど0歳から20歳をすぎた患者さんまで診察されているとのことでした。先生の専門とされている小児内分泌疾患の患者さんが、進学などで富山を離れられる際は、「規則的な生活は送れるだろうか、食事はきちんとバランスを考えて摂れているだろうか、この季節は心配になります」とのお話でした。最近では小児にも生活習慣病である2型糖尿病が発症しており、お母さんはもちろんですが、本人にしっかり生活指導することが、肝心とのことでした。飽食の時代にTVやゲームで体を動かすことも減り、さまざまな誘惑に打ち勝つ努力が子供にも求められるようです。そんな時、先生から「一緒に頑張りよう!」「よく頑張ったな!」と言っただけのことは、闘病生活を送る子供たちにとってなんと心強いことなのだろうと思いました。

医院の特徴として、待合室以外に健診室が別に設けられ、各種予防注射や発達に関する相談、育児相談、そして夜尿症の相談など日常生活に目を向け地域に密着した医療を提供されています。常に心がけていらっしゃることは、「子育て支援の一環として地域で子供たちを育てていく手助けができればと考えています。健康な体、健全な心の発達を促すこと。具体的にはきちんと挨拶ができる子、人とコミュニケーションがとれる子、人を信じることができる子、そして私は常々子供に信頼される大人でありたいと思っています」。優しい先生のお人柄が表れた素敵なお話で感激いたしました。

診療所内はスタンドグラスが方々にはめ込まれ、柔らかな光と明るい雰囲気に包まれていました。先生や優しいスタッフの方々の懐かしい顔を拝見し、ほのぼのとした心持ちで帰路に着きました。

大腿骨頸部/転子部骨折地域連携パス会議

当院では、平成18年度より大腿骨頸部/転子部骨折地域連携パスを使用して、地域の医療機関と連携をとりながら治療を行っています。手術や術後の急性期リハビリテーションは当院で行い、回復期リハビリテーションを連携医療機関で行っています。現在、17箇所の医療機関が当院の大腿骨頸部/転子部骨折地域連携パスの連携先として登録しています。当院では年3回地域連携パス会議を開催して、連携先医療機関と情報交換やパスの見直しなどを行っています。

平成21年度第3回大腿骨頸部/転子部骨折地域連携パス会議が、3月24日午後6時より当院集団指導室において開催されました。連携先医療機関から9名、市民病院医師1名、看護師3名、理学療法士5名、ソーシャルワーカー1名、計19名の参加がありました。会議では地域連携パス使用報告と、本年4月より運用開始になる県内統一パス「とやま 大腿骨頸部/転子部骨折地域連携パス」についての説明を行いました。新しい地域連携パスの説明では多くのご質問をいただき、その運用方法について再確認できたのではないかと考えています。



第1回感染予防対策学習会を終えて

感染管理認定看護師 安田 恵



4月12日にICHG研究会代表で、当院感染対策顧問である波多江新平先生をお迎えして、平成22年度第1回感染予防対策学習会を開催しました。院外参加者58名、院内参加者88名と大勢の方に参加していただくことができました。ありがとうございました。

今回のテーマは「標準予防策と経路別予防策」で、感染対策の基本的な考え方とポイントを講義されました。また、プラスチックエプロンや手袋、マスクの着脱方法も教えていただき、実践に活かせる内容でした。

今回の研修を含め、今年度は感染対策学習会を5回開催する予定にしています。次回は、6月7日(17:45~19:00、講堂) テーマは「滅菌・消毒・洗浄」です。波多江先生をお迎えして開催する予定にしています。是非、この機会に日頃の疑問を解消してください。次回も、多くの方の参加をお待ちしております。



医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

5月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	28日	石浦	呼吸器・血管外科	12日、13日	草島
	12日	千代		14日	瀬川
	28日	打越	放射線科	20日、21日	達
	7日	泉谷	形成外科	27日、28日	置塩
	21日	清水	外科・乳腺外科	25日	野島
	25日	高櫻	小児科	13日	小西
整形外科・関節再建外科	18日、28日	澤口		28日	金田
	6日、27日	島		21日	西浦

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。



認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ



当院には、認定看護師（緩和ケア・感染管理・小児救急・皮膚排泄ケア）が活躍していますが、当院独自の制度であるエキスパートナースもユニークな活動を展開しています。

今月より1年間にわたって、院内外で活躍の場が広がっている認定看護師とエキスパートナースを分野別にご紹介いたします。

トップバッターは地域の皆様にもおなじみの「地域看護エキスパートナース」です。

地域看護 エキスパートナース編

地域看護エキスパートナースは、平成16年に患者さんやご家族が、退院後の療養生活について抱かれる不安な気持ちや心細さを出来るだけ早く解決し、安心して退院していただくための身近な情報の発信源となれるよう、活動を開始しました。現在4名のケアマネジャー資格をもつ看護師が、「地域看護エキスパートナース」として保健・医療・福祉の隔たりのない連携を目指しています。

また地域医療に関する知識や介護への理解を深める勉強会や施設見学、病院スタッフへの研修などを開催し、地域の現場の方々と情報交換や交流を図り、「Face to Face , Heart to Heart」の地域看護をすすめています。これからは、ますます地域と病院がひとつとなる地域完結型医療を目指し、連携を深める活動を広げたいと思いますので、皆様のご支援をお願い致します。



ふれあい地域医療センタースタッフ異動のご案内

4月1日より、富山市役所こども福祉課からふれあい地域医療センターに異動となりました看護師の石崎華代です。新しい職場での業務に、毎日緊張の連続です。今後は、当院へのご紹介、受診についての連携等が、主な業務となっていきます。地域の先生方にご迷惑をおかけすることなく、1日も早く業務に慣れるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

新年度を迎え、「れんけいと支援」の表紙の色をリニューアルいたしました。地域医療部にも新しいスタッフを迎えて早1ヶ月が経過いたしました。

そして、今回の診療報酬改訂は医療と介護の機能分化と連携の推進など質を高く効率的な医療が基本方針として盛り込まれており、新しいこと尽くめの中、私たちスタッフ一同、住み慣れた我が家へ患者さんが帰ることができるよう更に努力し、地域の先生方にご指導いただきながら、地域完結型の医療を目標にまいります。どうぞ今年度もよろしくお願い申し上げます。

ふれあい地域医療センター 滝本 厚子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>
がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp



この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用した環境配慮型製品です。